

循環器内科

安村良男

循環器疾患は治療法の進歩や高齢化社会を反映して、疾病が重症化し、かつ複合化してきている。したがって、診療ガイドラインに基づき対応することを基本としてはいるが、個々の症例の特殊性に対応する柔軟性が要求されている。さらにその治療は、予後の改善のみならず、QOLの改善が重要となっている。

虚血性心疾患：内科的治療や再灌流療法の進歩により、心不全や不整脈を合併する症例が増加している。ICD 植え込みなどの不整脈への対応と、包括的治療としての心臓リハビリテーションが重要と考えられる。後者は現在準備中である。

心不全：心不全は急性心不全治療と慢性期心不全治療からなる。特に急性心不全においてはその予後を改善する治療法は確立していない。我々は、急性心不全の本体と考えられるうっ血の定量化と、うっ血をもたらす心腎連関に着目し、その病態の解明と治療法の確立に取り組んでいる。また、高齢者心不全、再入院を繰り返す症例に対する対応を課題として取り組んでいる。

重症心不全：拡張型心筋症は難病（特定疾患）の一つであるが、循環器科では、本疾患を含む重症心不全治療を重点課題の一つとしている。

不整脈診療：頻脈性不整脈に対する基本的なカテーテルアブレーション治療を提供する。また、高齢者心房細動に対して積極的にワーファリンを導入し、心原性脳梗塞の予防を行っている。

心原性脳塞栓の予防：高齢者の一次予防で重要なものに心原性脳塞栓がある。心原性脳塞栓のうち約半数は非弁膜性心房細動(NVAF)が原因であり、70才以上の高齢者でNVAFが飛躍的に増加することから、この疾患群における脳梗塞の予防は極めて重要である。1998年4月より塞栓予防を目的とした「心房細動外来」を開設し、ハイリスク患者に予防的にワーファリンを使用することにより一次、二次予防に努めてきた。この分野において当院は全国でもオピニオンリーダー的存在であり、今後ワーファリンにかわる新しい抗凝固薬の開発治験にも大きな役割を果たしている。

【2012年研究発表業績】

A-0

Yoshio Yasumura : Combination of β -blocker and milrinone for acute heart failure. *Circulation J* 2012;76:1589-1590

A-2

安村良男:心不全診療 Q&A エキスパート 106人からの回答。中外医学者 編集 北風政史 発行 2012年9月15日

A-3

三浦弘之 : 薬剤性心筋症に対してカルベジロールを投与し、心機能回復後に中止した症例。 *Osaka Heart Club* 2012;36:6-10

安村良男 : Editorial Comment. 関論文に対する Editorial Comment. *心臓* 2013;45:266-267 (2013)

年 3 月 15 日発行)

A-4

安村良男：慢性心不全患者における β 遮断薬の有用性とイバブラジンの効果。最新医学 2012;7:1674-1681 (2012 7 月号)

安村良男：虚血性心疾患と心不全。心臓 2012;44:1455-1458 (2012 11 月 15 日発行)

安村良男：浮腫をみたら。Fluid Management Renaissance 2012;2:9-17 (2012 7 月号)

安村良男：ジギタリス製剤。Medicina 2012;49:20-22 (2012 年 11 月 1 日)

安村良男：カルベジロールとビソプロロール、どちらが優れる？Mebio 2013;30:98-108

安村良男：ジギタリス製剤 いま内科薬はこう使う。Medicina 2012;49:20-22

安村良男：心不全治療の新展開 水利尿薬をいかに使いこなすか Antiaging Science 2012;4:38-45(2012 7 月号)

安村良男：利尿薬抵抗性 (loop diuretic resistance; LDR) への対応。月刊循環器 Circulation 2012; 2:92-95

安村良男：病態から考える治療選択の流れ ガイドラインを踏まえて。Medicina 2012;49:2092-2097 (2012 年 12 月号)

B-2

Hamano G, et al : Acute effects of adaptive servo ventilation on hemodynamics and neurohumoral factors in patients with chronic heart failure

B-3

安村良男：包括的心疾患治療としての心臓リハビリテーションの新展開。Pharmacological treatments of chronic heart failure and its limitation 第 77 回日本循環器病学会学術集会 (2013. 3.15 横浜) Roundtable Discussion

安村良男：慢性心不全における β 遮断薬治療 2 つの β 遮断薬の比較。第 27 回日本不整脈学会 (2012 7.06 横浜)ランチョンセミナー

安村良男：標準的心不全薬物療法の効果と限界。第 16 回日本心不全学会学術集会(2012 11 月 30-12 月 2 日、仙台) 教育講演

B-4

K Miyazaki et al. : Volume status of acute heart failure in patients with severe left ventricular dysfunction with mitral regurgitation. 第 16 回日本心不全学会学術集会(2012 11 月 30-12 月 2 日、仙台)

小出雅雄 : うっ血は腎機能を悪化させる : 急性心不全患者での検討。第 60 回日本心臓病学会(2012 9 月)12-16、金沢)

三浦弘之 : 急性心不全治療においてクレアチニンが上昇する症例の検討。第 60 回日本心臓病学会(2012 9 月)12-16、金沢)

B-6

濱野 剛 : 甲状腺機能低下症と冠動脈疾患を合併したブルガダ症候群の一例。第 113 回日本循環器病学会近畿地方会(2012 6.16)

小出雅雄 : 右室流出路起源心室性期外収縮から心肺停止に至ったと考えられる 2 症例の心筋病理所見。第 113 回日本循環器病学会近畿地方会(2012 6.16)

三浦弘之 : 当院におけるトラスツマブ投与後の心機能障害に関する検討。第 114 回日本循環器病学会近畿地方会(2012 12.15)

三浦弘之 : 薬剤性心筋症に対するカルベジロールを中止し得た一症例。第 114 回日本循環器病学会近畿地方会(2012 12.15)

濱野 剛 : 心筋疾患の合併が疑われた CPA 蘇生後の一例。第 114 回日本循環器病学会近畿地方会(2012 12.15)

宮崎宏一 : 甲状腺機能亢進症治療開始 1 年後に、発作性心房頻拍が出現し、多発性禁煙の合併が判明した一症例。第 198 回 日本内科学会近畿地方会 (2012.9.18 京都)